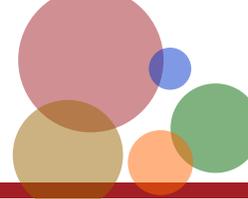


# 2016年8月期第3四半期 決算説明資料



株式会社農業総合研究所  
Nousouken Corporation

<証券コード: 3541>



# 目次

## 会社概要 02

---

## 決算概要 03

---

第3四半期累計業績ハイライト  
流通総額／推移  
店舗数／推移  
店舗数／2016年5月末時点  
登録生産者数／推移  
集荷場数／推移  
貸借対照表

## 参考資料 10

---

# 会社概要 (2016年5月末現在)

**社 名** 株式会社 農業総合研究所

**設 立** 2007 (平成19) 年10月25日

**代 表 者** 代表取締役社長 及川 智正

**本 社** 和歌山県和歌山市黒田17番地4

**資 本 金** 172百万円

**主な事業内容** 「農家の直売所」事業 (委託販売システム・買取委託販売・卸販売)

**従 業 員 数** 50名

**上 場 市 場** 東証マザーズ (証券コード: 3541)

**経 営 目 標** 持続可能な農産業を実現し、生活者を豊かにする

**経 営 方 針** ビジネスとして魅力ある農産業の確立

# 第3四半期累計業績ハイライト

## KPI

- 流通総額\* 3,820百万円 (前年通期実績 3,855百万円)
- 店舗数 644店 (前期末比+173店舗)
- 生産者数 5,482名 (前期末比+760名)

\* 流通総額：スーパー等において最終消費者に購入いただいた最終販売価格の総計

## 収益

- 売上高 831百万円 (前年通期実績 884百万円)
- 営業利益 104百万円 (前年通期実績 44百万円)

## 通期予算

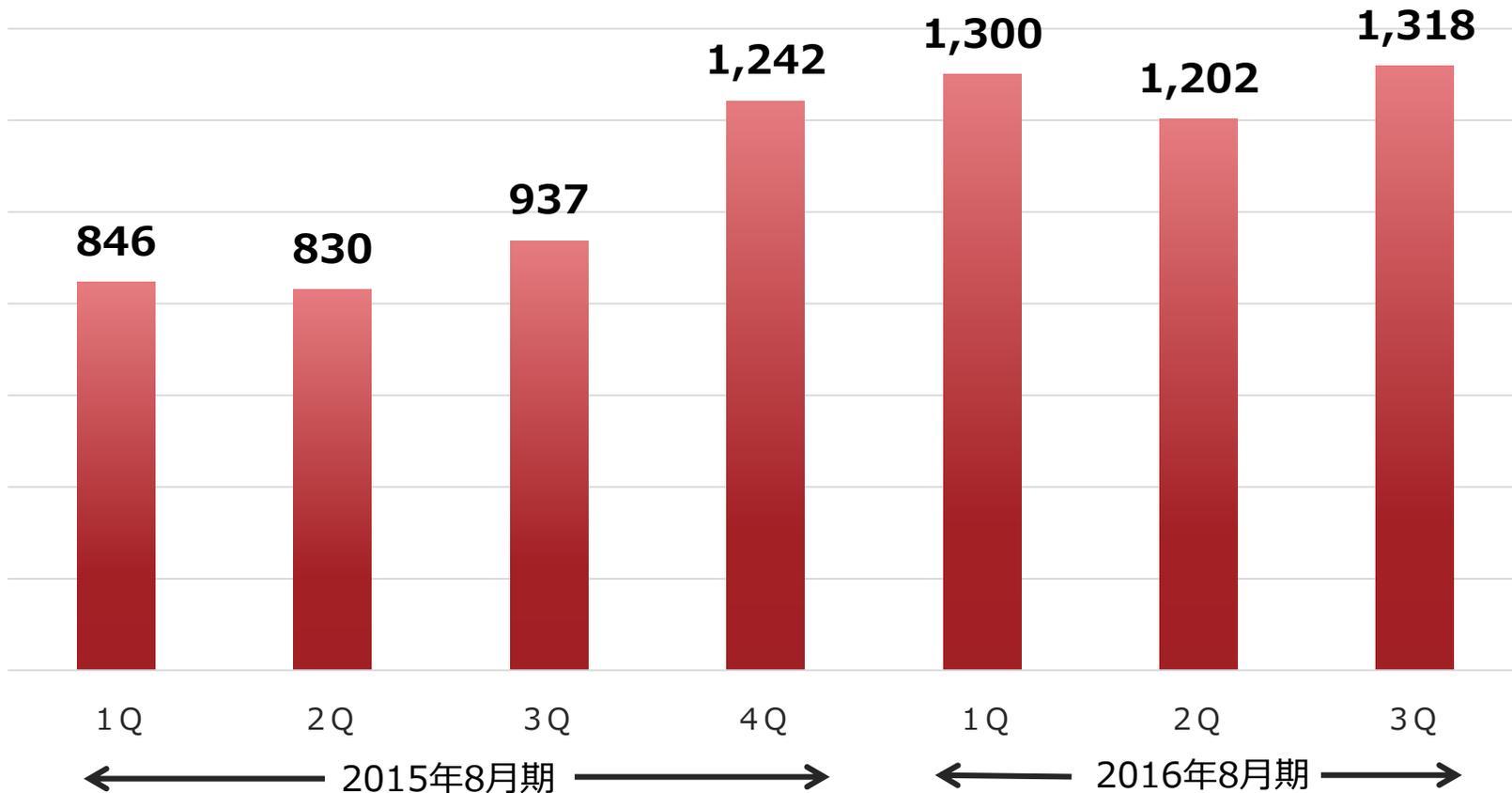
- 流通総額 5,201百万円 (3Q末進捗率 73.4%)
- 売上高 1,051百万円 (3Q末進捗率 79.1%)
- 営業利益 149百万円 (3Q末進捗率 70.0%\*)

\* 営業利益：流通総額等の進捗率に比し低いのは、3Qに上場コストを計上したため

# 流通総額／推移

■ 流通総額：導入店舗、登録生産者の順調な拡大により成長

単位：百万円



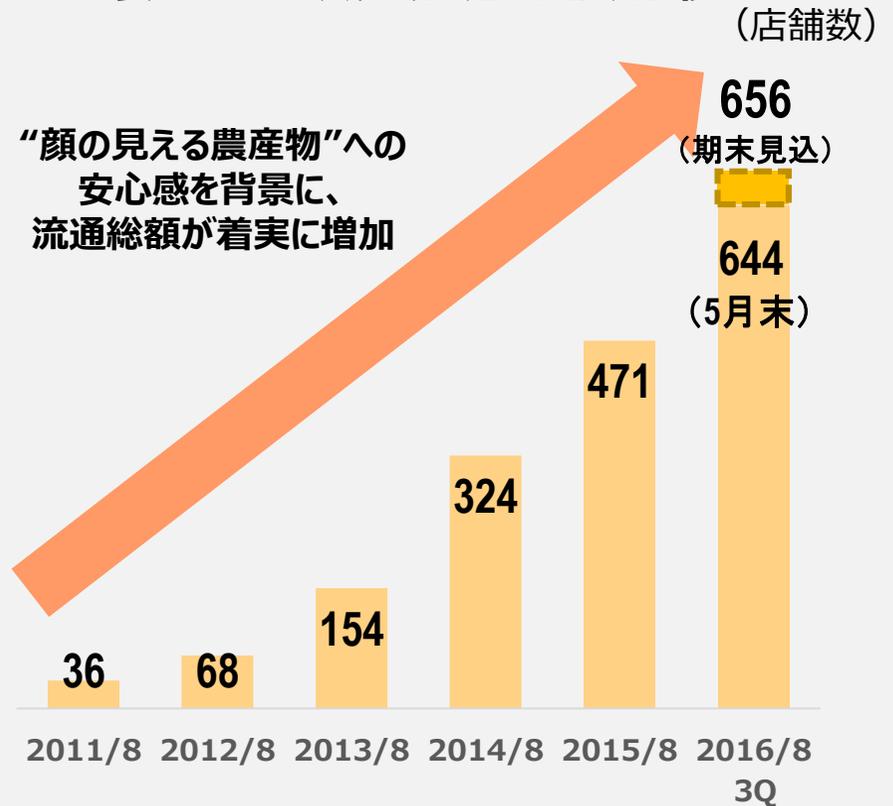
# 店舗数 / 推移

■ 2016年5月末時点で644店舗 (通期計画進捗93.5%)

## 主要取引先

イオンリテールストア(株)	イズミヤ(株)
(株)いなげや	小田急商事(株)
コーナン商事(株)	サミット(株)
(株)山陽マルナカ	合同会社西友
(株)ダイエー	(株)東急ストア
(株)阪食	(株)平和堂
(株)ヤオコー	(株)ヤマザワ
(株)ヨークベニマル	(株)ライフコーポレーション
他	

## 委託販売システム採用店舗数推移



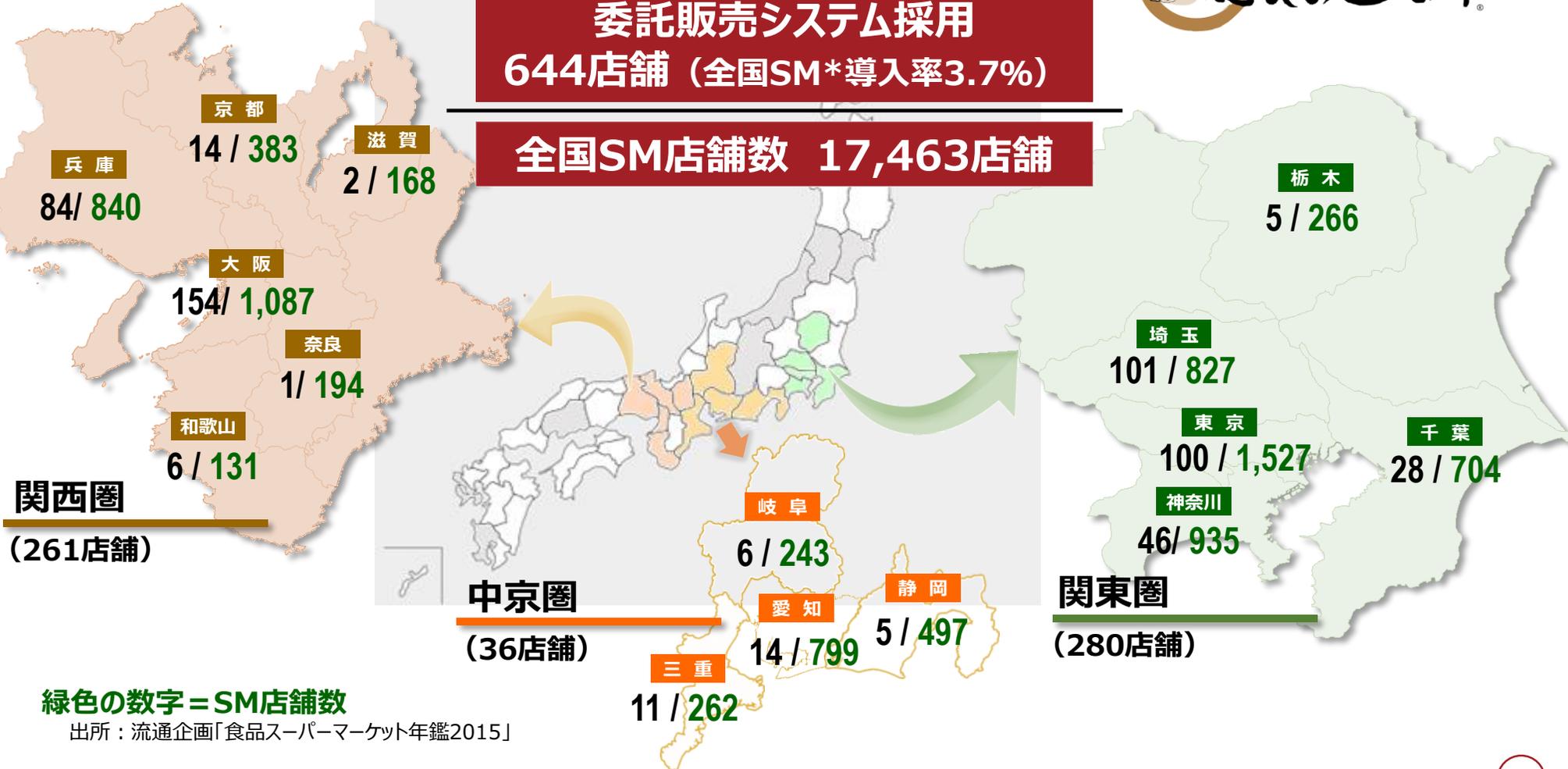
# 店舗数 / 2016年5月末時点

\*SM…スーパーマーケット



委託販売システム採用  
644店舗 (全国SM\*導入率3.7%)

全国SM店舗数 17,463店舗

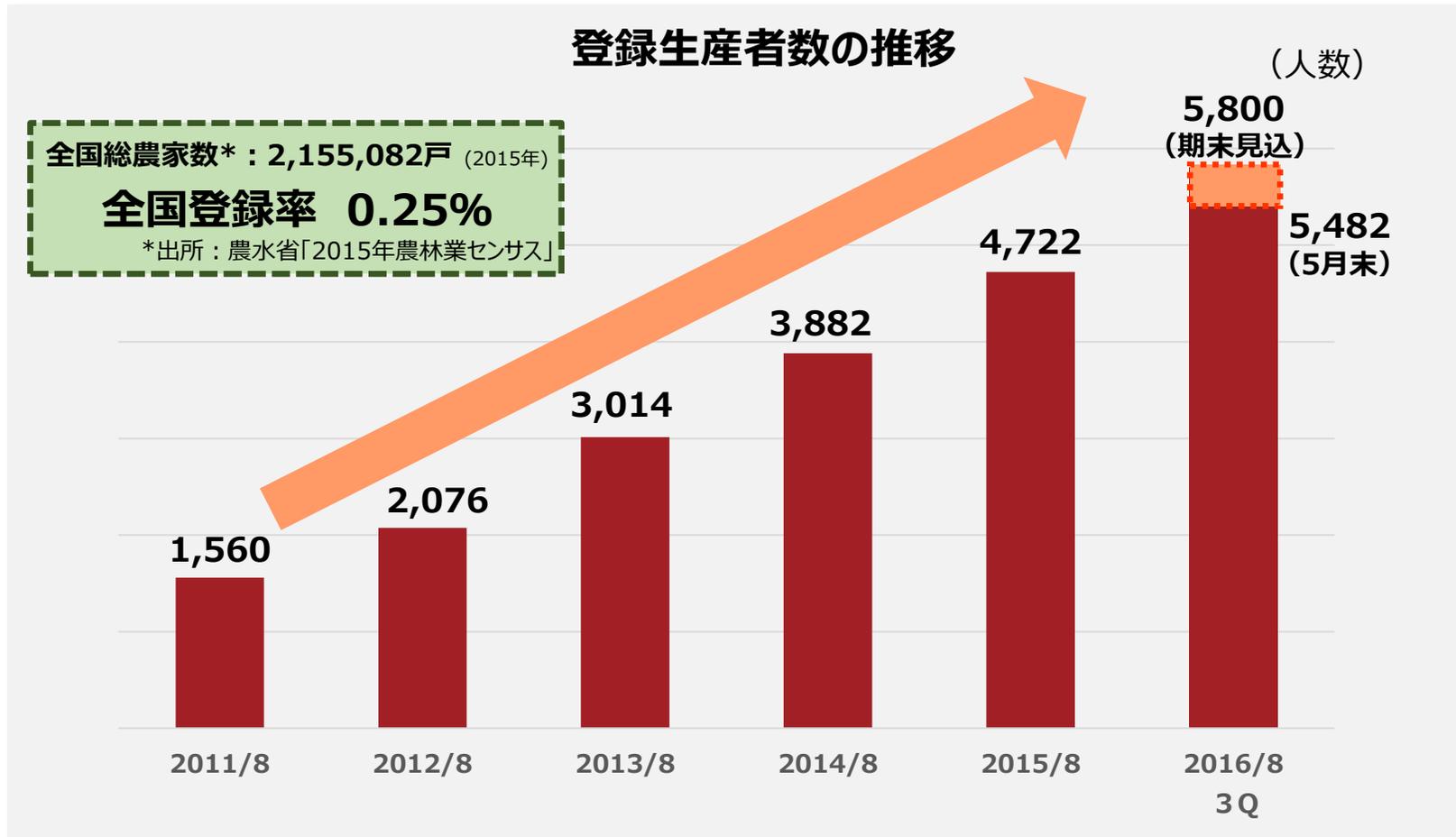


緑色の数字 = SM店舗数

出所：流通企画「食品スーパーマーケット年鑑2015」

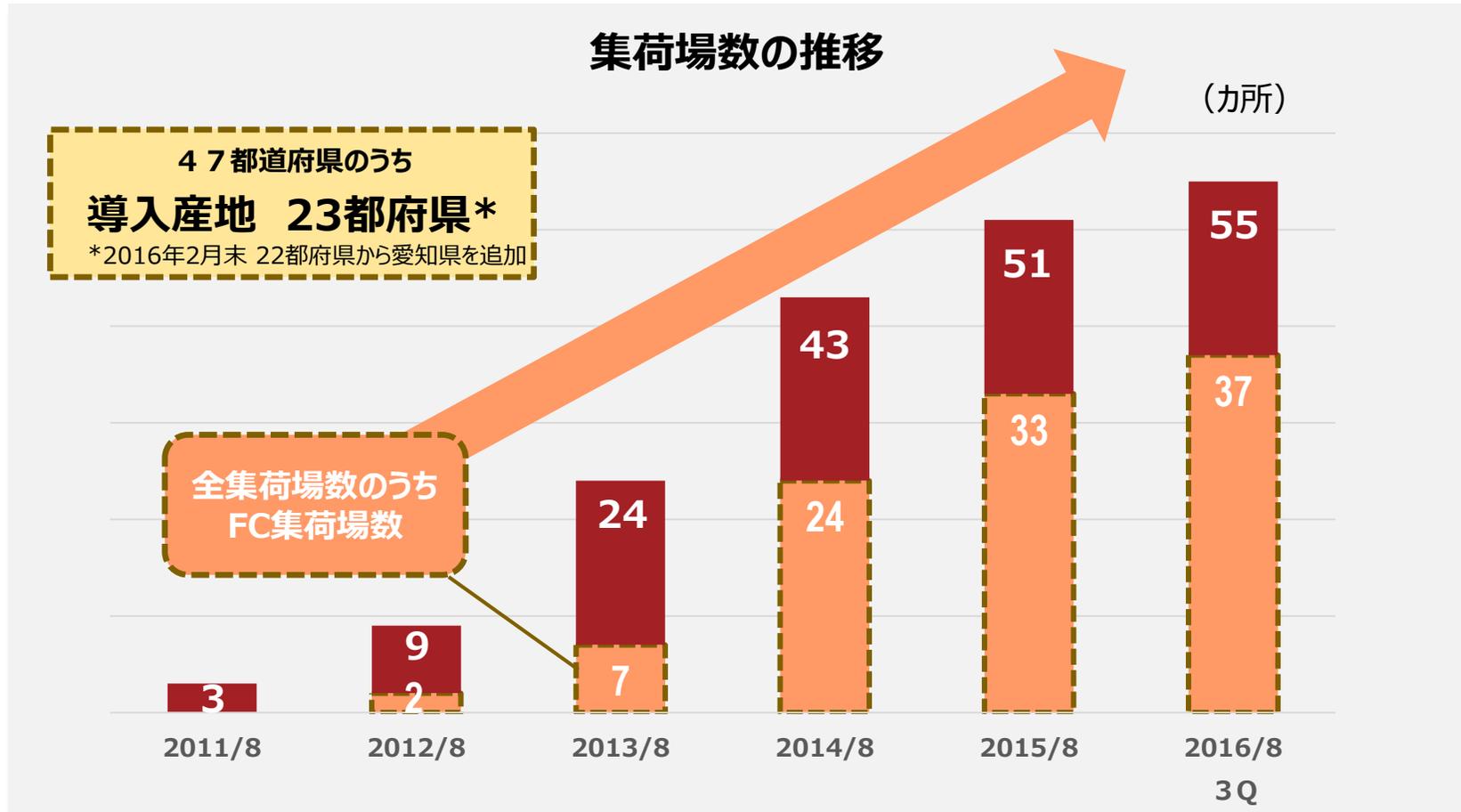
# 登録生産者数 / 推移

- 2016年5月末時点で5,482名（通期計画進捗70.5%）



# 集荷場数 / 推移

■ 2016年5月末時点で55か所（うちFC集荷場は37か所）



# 貸借対照表

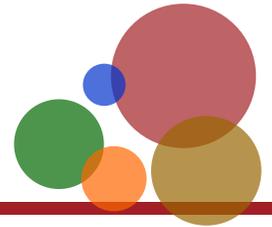
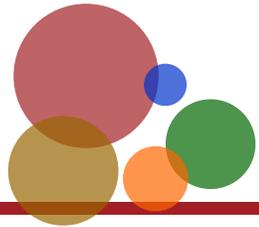
■ 利益計上と取引ボリュームの拡大により総資産が増加

単位：百万円

	2015年8月期 8月末	2016年8月期 5月末	増減	
<b>流動資産</b>	<b>534</b>	<b>655</b>	<b>+122</b>	
現金預金	298	368	+70	利益計上による増加
売掛金	231	275	+44	流通総額の拡大による増加
<b>固定資産</b>	<b>15</b>	<b>33</b>	<b>+22</b>	
無形固定資産	5	26	+21	システム開発による増加
<b>資産合計</b>	<b>549</b>	<b>689</b>	<b>+140</b>	
<b>流動負債</b>	<b>413</b>	<b>468</b>	<b>+54</b>	
買掛金	268	308	+40	流通総額の拡大による増加
<b>固定負債</b>	<b>82</b>	<b>95</b>	<b>+26</b>	
長期借入金	82	95	+13	システム支払用に借入
<b>負債合計</b>	<b>495</b>	<b>564</b>	<b>+13</b>	
<b>純資産</b>	<b>53</b>	<b>125</b>	<b>+71</b>	

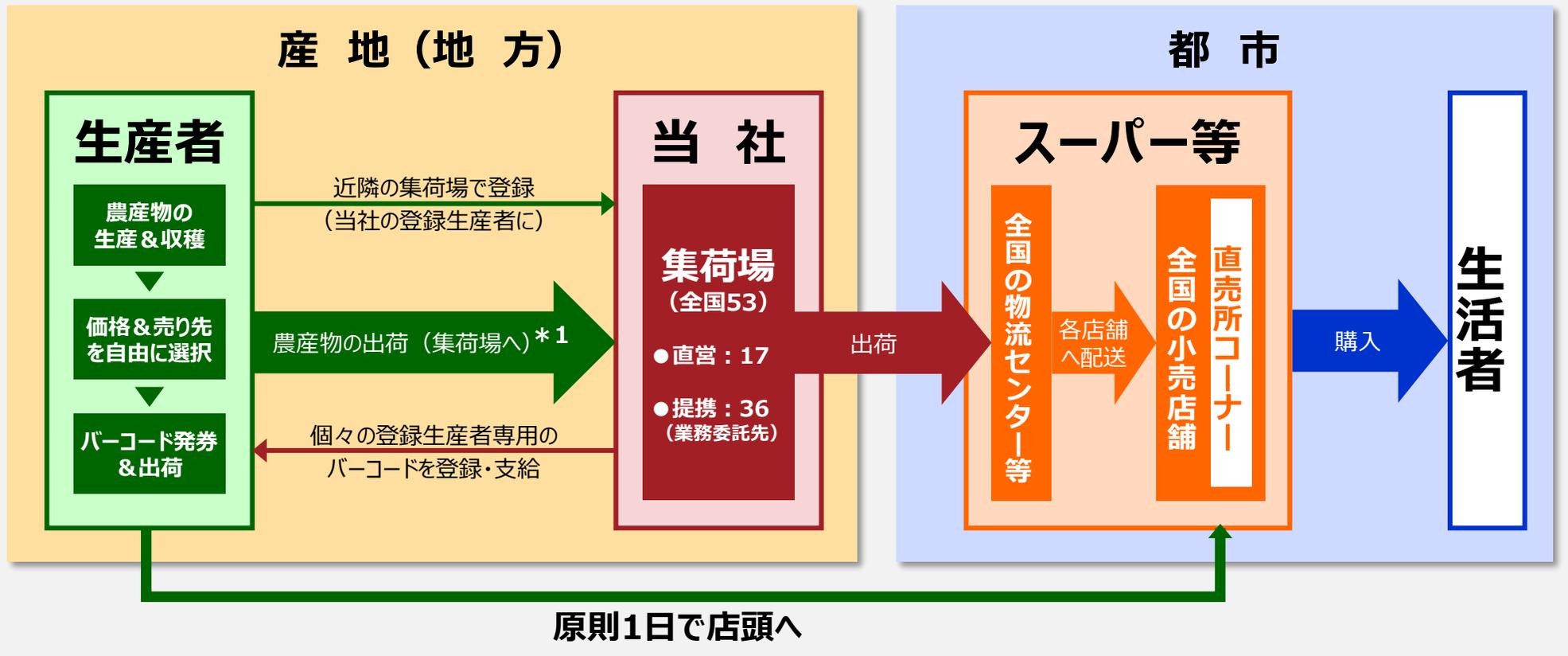
# 參考資料

---



# 「農家の直売所」事業 基本フロー ①

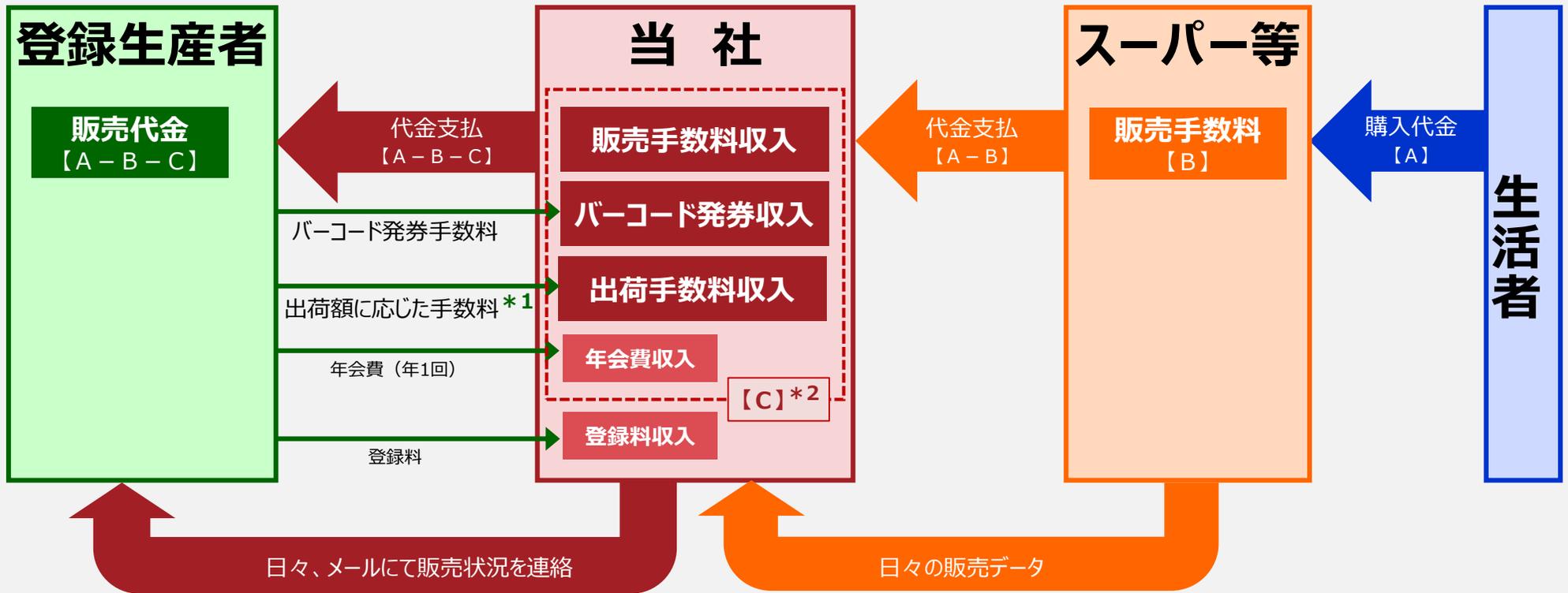
## 農産物の流れ（物流）



\* 1 : 集荷場が遠方にあり出荷できない登録生産者には、タブレット端末とバーコード発券機を貸与し自宅でバーコードを発券し、直接スーパー等へ郵送

# 「農家の直売所」事業 基本フロー ②

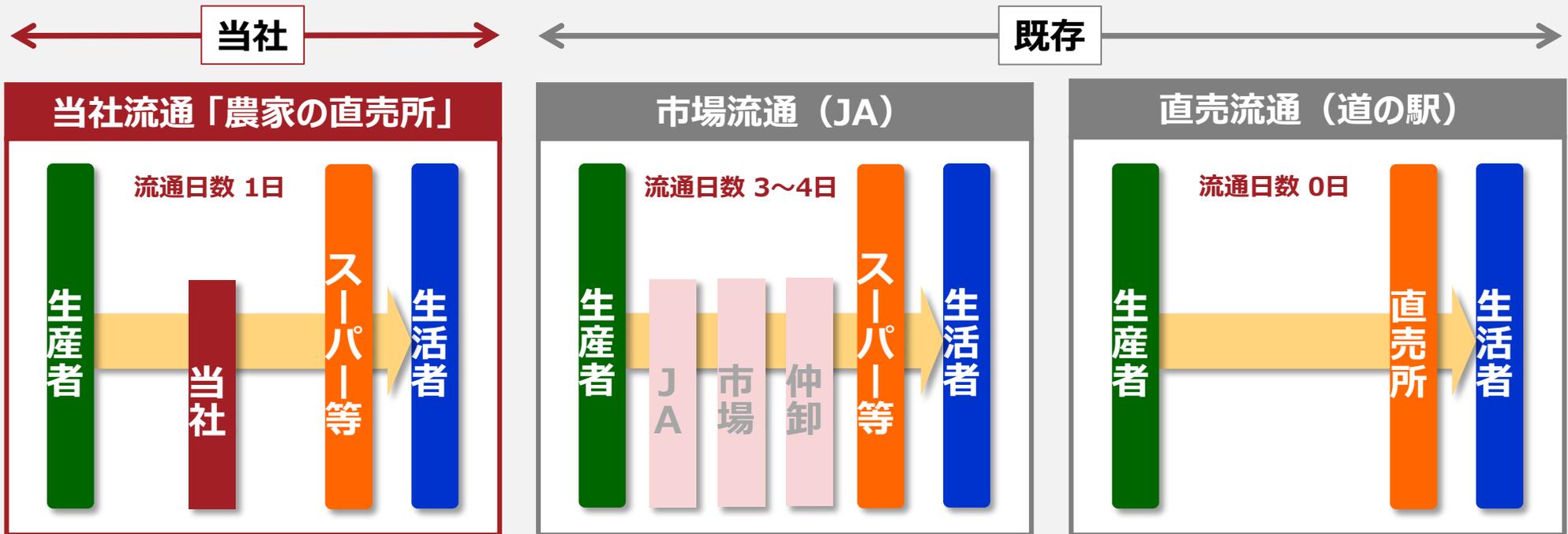
## 手数料・情報の流れ (IT)



\* 1 : 集荷場が遠方であり出荷できない登録生産者には、出荷手数料を徴収せず、タブレット端末とバーコード発券機の貸与料を口座引落する  
 \* 2 : 提携集荷場（業務委託先）の場合は、販売額に応じた手数料から業務委託手数料を支払う

# 他農産物流通との比較

## 自由な中規模直販プラットフォームを構築



※主たる農産物の標準的な流通経路（当社調べ）

- 大規模流通である市場流通に比べ、当社流通「農家の直売所」は流通販売量で劣るものの、契約生産者が北から南までの広い地域に分布しているため、スーパー等に対して年間を通して供給量の確保が可能（中規模流通を実現）
- 一方、道の駅は、収穫当日の商品を取り扱い鮮度が最も高いものの、生産地・販売量ともに限定的

# “プラットフォーム”の全体像

「都市型農産物流通プラットフォーム」が提供する“三方良し”の仕組み

**生産者**

収益増加を提供

登録生産者が  
増える！

出荷量の拡大

**スーパー等**

店舗の魅力アップを提供

参画するスーパー等が  
増える！

販売ネットワークの拡大

**生活者**

鮮度の高い農産物を提供

購入する生活者が  
増える！

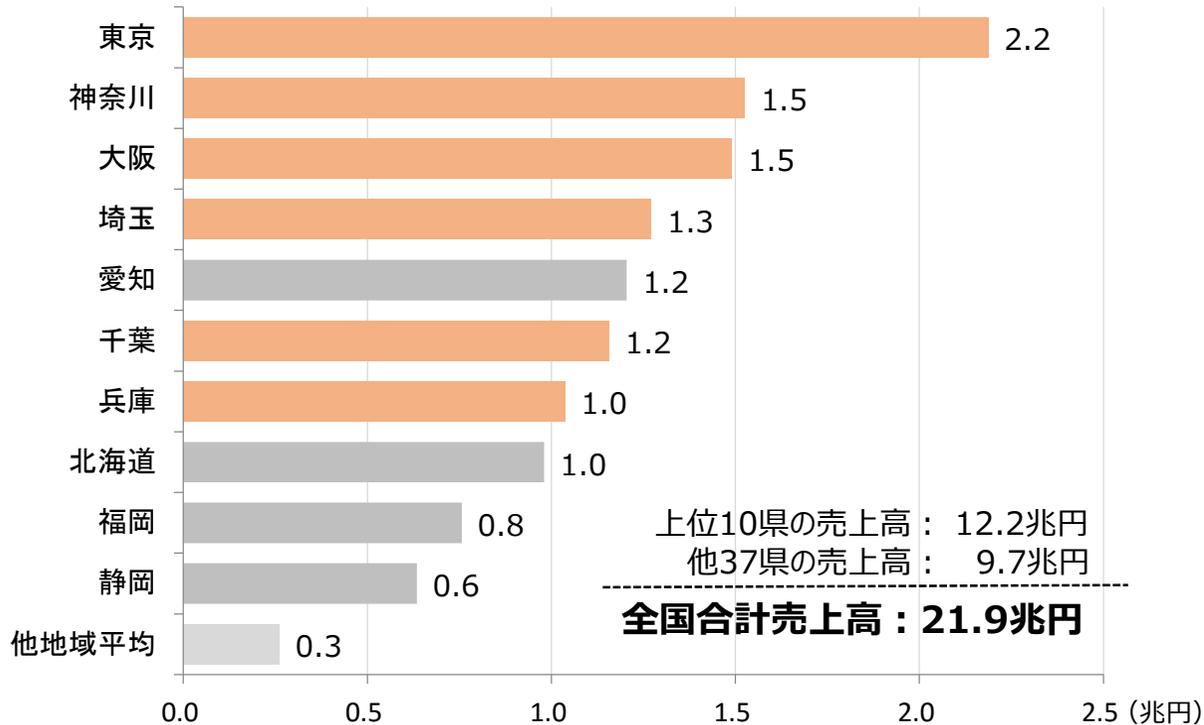
流通総額の拡大

「都市型農産物流通プラットフォーム」の新たな社会インフラ化

# 市場環境（スーパーマーケット）

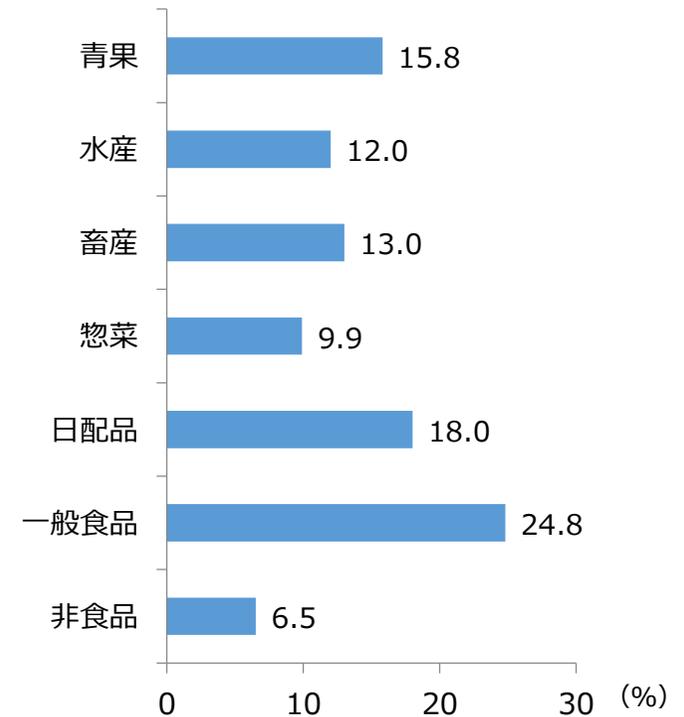
## スーパーマーケットの青果売上高は3兆円を超える

■ 都道府県別スーパーマーケット売上高比較  
(2014年度)



出所：流通企画「食品スーパーマーケット年鑑2015」

■ スーパーマーケットの売上高構成  
(2014年)

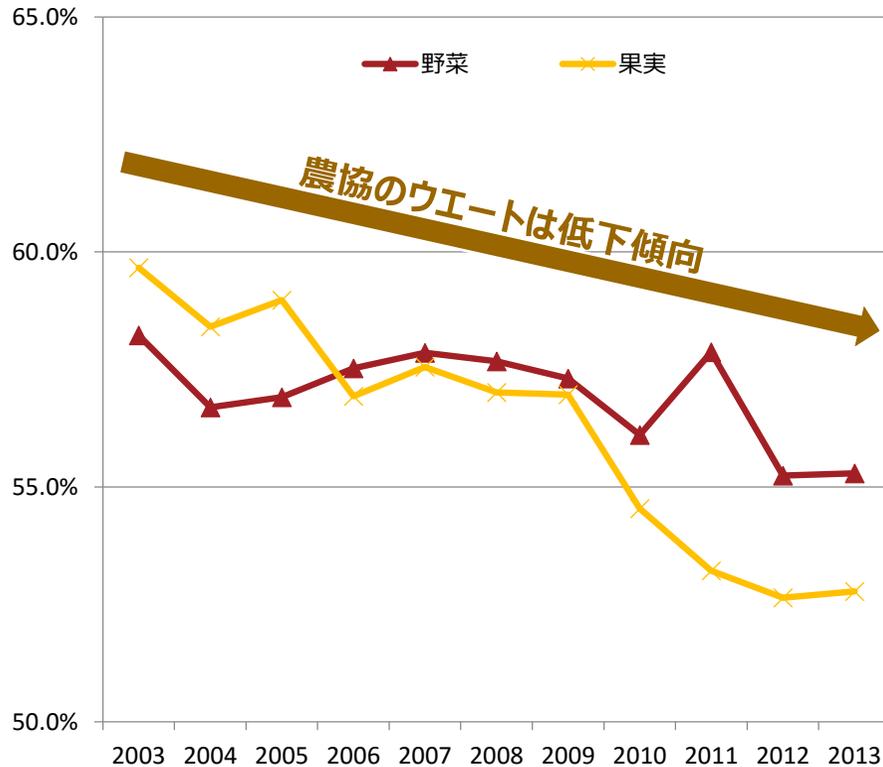


出所：スーパーマーケット年次統計調査報告書  
(日本スーパーマーケット協会、オール日本スーパーマーケット協会、  
新日本スーパーマーケット協会)

# 市場環境（農産物流通）

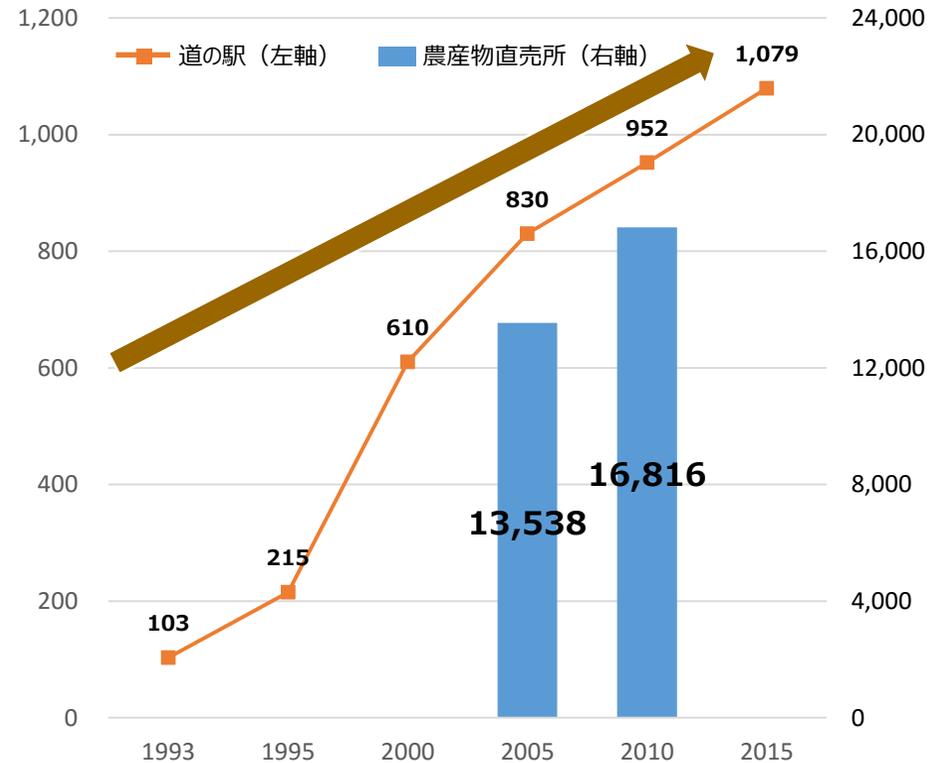
## 拡大する直販市場ルート

■ 農協の農産物取扱ウエート推移



出所：農水省「農業総産出額及び生産農業所得（全国）農業及び総合農協統計表」

■ 農産物直売所、全国「道の駅」登録数の推移（箇所）



出所：農水省「農産物地産地消費実態調査」、国交省「道の駅案内 登録状況」  
注：道の駅は1995年までは4月末、2000年以降は8月末の状況。直近は2015年11月。農産物直売所数は、2月時点。